



佐々木 大三郎 議員

一問一答方式

ふるさと公社の経営改善策は 市長…株式会社化を検討している



来年2月に営業終了する「結いの市」

問……………

平成20年度以降取支が赤字状況に陥ったことから「経営改革3か年計画（H28～H30年度）」を策定し、30年度までに黒字化を目指すとしていたが4900万円の赤字。原因は。

問……………

イオンからの「結いの市」撤退についての真偽は。また、生産農家の救済策は。

答(市長)……………

公社理事、職員が丸となって経営改善の気概を持って設定した

答(市長)……………

イオンとの契約満了により来年2月に営業を終了する。生産者へ

問……………

が、赤字のみが強調される風潮に職員が萎縮し、経営改善の気概に水を指す面もあった。

問……………

の対応は、川徳を含め新たな販売先を探る。債務超過見込みと、資金繰り問題から株式会社化を検討しているのか。

答(市長)……………

公社が自立した経営体を目指すには、新たな資金調達手段の確保が必要不可欠ことから株式会社化を検討し

問……………

ふるさと村と水光園の経営分離は。

答(市長)……………

経営分離は経営改革の一つの選択肢である。当面は経営改革によって収支改善を目指したい。

問……………

JR遠野駅舎の活用策は。市長…JRと市の新築合築で協議を進める

答(市長)……………

駅舎の一部に宿泊施設を設けるという案であるが、市内の宿泊事業者など関係者と調整を図ったか。

問……………

宿泊事業者や観光協会等との調整は、市が検討している案がまると、JRとの合意形成が整った時点からとなる。

答(市長)……………

駅周辺を「戦略・情報発信エリア」と位置づけ、多くの人が集い情報を共有しあえるエリアにする。駅舎の整備費用やスケジューリングはこれからの検討課題。



菊池 巳喜男 議員

(遠野令和会)

一問一答方式

遠野スタイル創造・発展総合戦略から 見えるものは 市長…人口減少の抑制に挑戦していく

問……………

平成30年度KPI実績18指標中、未達成が12指標、要因は。

答(市長)……………

総合戦略策定は、重要業績評価指標であるKPI（キー パフォーマンス インディケーター）を年度ごとに18項目設定し、総合計画審議会と議会に諮り検証している。KPI達成率は33%と平成29

問……………

年度比1指標減となる。未達成は100%未満であり、90%以上の達成率に置き換えるという指標となり、平成29年度と同等になる。人口減少が進む中、目標数値を年々増加や現状維持の積極的な数値に設定している、この中でも健闘していることを認識している。中でも、子育て対策の未達成は、近年の出生率が増加傾向にあるものの、子どもの総数

答(市長)……………

を総人口や年代ごとの人口構造で見ると、少子化に歯止めがかかっていない状況である。また、高齢者対策の未達成は、生産年齢期における健康づくりの意識醸成が進まないまま高齢期を迎えていることや、高齢期の就労意欲や社会貢献の考え方も多様化していることが要因と考えられる。

その他の質問

- 有害鳥獣駆除対策の現状と対策について

問……………

市内の新規学卒者雇用数も減っており、生産年齢人口の割合が減

生産年齢人口の減少対策は 市長…若い世代の雇用と 就労環境の確保が必要



子育ての拠点である市内保育園の運動会 (岩滝保育園提供)

答(市長)……………

少している。対策が急務となっているが。生産年齢人口、いわゆる若者・子育て世代の流出に歯止めをかける対策が急務である。平成30年度出生数は164人と2年連続で増加傾向にあるが、18歳までの子どもの各年齢の平均人口は約200人であるのに対し、19

問……………

今年度で計画最終年

答(市長)……………

地元での雇用と就労環境の確保が必要であり、新たな雇用の創出を促進し、人口減少の抑制に挑戦していく。